

# あなたのまちの国有林

## 沖縄北部流域における国有林野事業の取組



やんばるの森  
(我地林道からの遠望)



国頭村内の首里城古事の森  
育樹作業  
(安波・安田小学校)



東村内の首里城古事の森  
育樹作業  
(東小学校4年生)



# 沖縄北部流域の概要



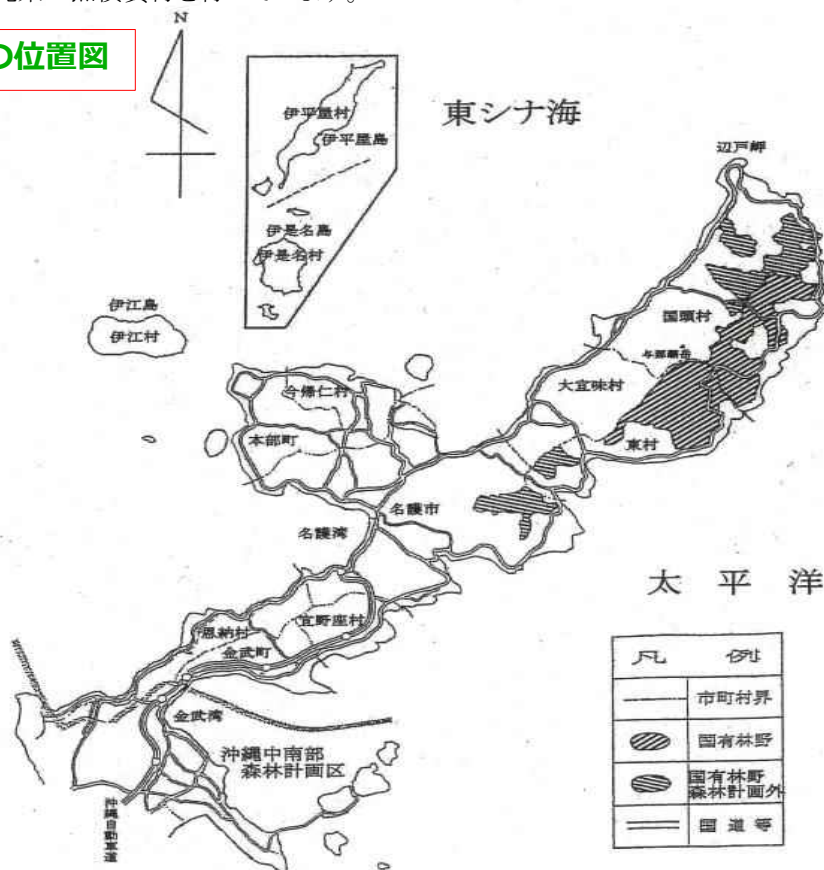
イジュの花

## 1.流域の概況・特色

### (1)位置及び面積

本流域は琉球列島最大の島沖縄本島北東部に位置し、名護市、国頭郡、島尻郡の伊平屋村、伊是名村を含めた1市2町9村からなり、区域面積は82,457haで沖縄県総面積227,664haの36%を占めています。また、本流域の国有林は、沖縄本島北部の名護市、国頭村、東村、伊江村、伊平屋村の1市4村に11,986haが所在しています。このうち、沖縄森林管理署が管轄する国有林は7,533haです。残りの4,453haのうち4,395haは、勅令貸付国有林として沖縄県へ無償貸付を行っています。

### 沖縄本島北部流域の位置図



### (2)地 勢

本流域は比較的山岳が発達した流域で、沖縄本島の最高峰である与那覇岳(503m)をはじめ、西銘岳(420m)、照首山(395m)、伊湯岳(446m)、多野岳(385m)、伊部岳(352m)、名護岳(345m)等300~400m級の山岳が島の中央部を縦走しています。また、本島北西部に突出した本部半島には、八重岳(454m)、嘉津宇岳(452m)等の400m級の山岳等があります。水系は福地川に福地ダム、新川川に新川ダム、安波川に安波ダム、普久川に普久川ダム、辺野喜川に辺野喜ダム、大保川に大保ダム、羽野大川に羽野大ダムの主要ダムがあり、沖縄県民の水がめとして重要な役割を担っています。

### (3)気 候

本流域の気候は、亜熱帯海洋性気候に属し温暖多雨となっています。なお、夏から秋にかけて襲来する台風と冬季の季節風は、農林業等にかなりの潮風害をもたらしています。年平均気温及び降水量(H25~H29の平均)は、名護観測所で23.0℃、2,097mmとなっています。

### (4)流域の特色

本流域の人口は131千人となっており、沖縄県総人口の1,469千人の9%となっています。(平成30年3月の沖縄県市町村概要による)

交通は、西側は恩納村から名護市を抜け国頭村字奥集落まで国道58号線が走っており、その先東側は県道が走り名護市を拠点として宜野座村、金武町へ通じています。また、離島の伊江村、伊是名村、伊平屋村への交通の便はいずれも船舶の利用となっています。

本流域は沖縄県内でも林道網が復帰後に整備され、国頭村森林組合、沖縄北部森林組合があり、沖縄県で林業が最も盛んな地域でもあります。その林道網は本島北部を横断する形で走っており一部生活道としての役割を果たしています。

産業別就業人口の割合では、第1次産業が主で農業生産では、パイン、サトウキビ、果樹等の栽培が行われており、畜産業では牛の肥育や養豚、養鶏業が中心となっています。



## 2. 国有林の概況・管理経営


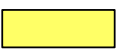




カクチョウラン

流域内の国有林のうち計画の対象となる国有林野がある市町村は、国頭村、東村、伊江村、伊平屋村の4村となっており、対象面積は7,533haになります。なお、名護市や国頭村の国有林には、沖縄県が県営林経営計画に基づいて管理経営を行っている勅令貸付地4,395haがあります。

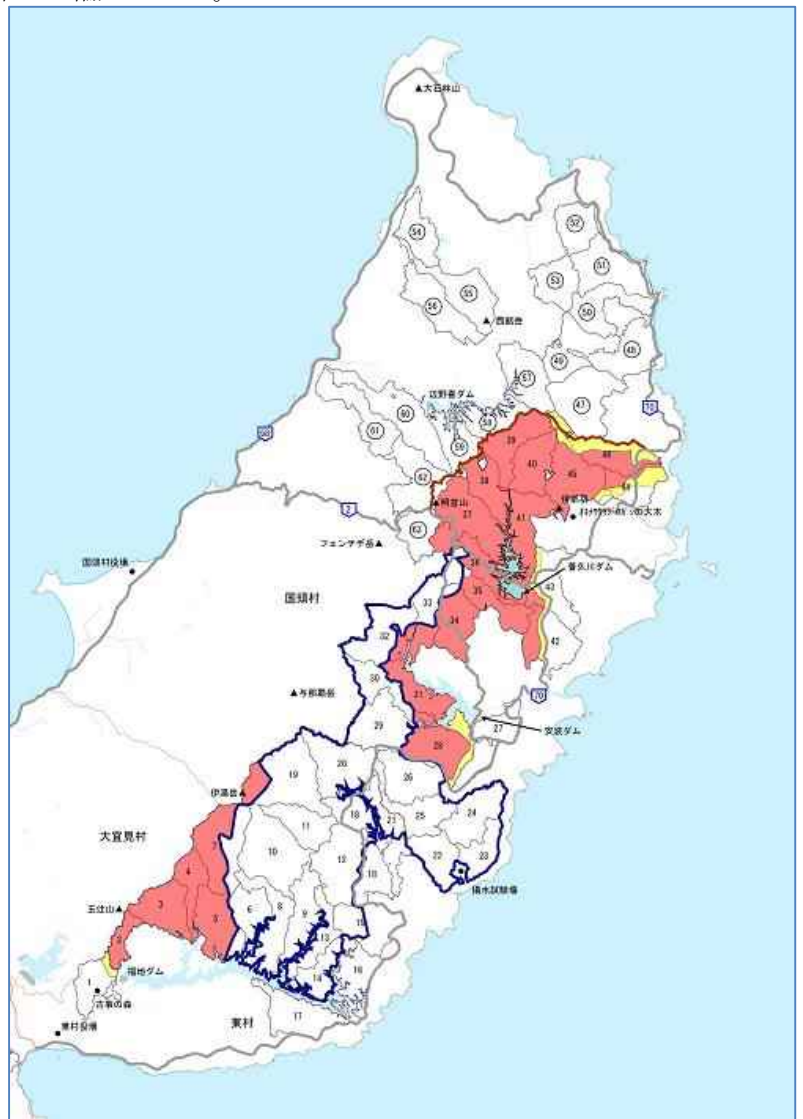
沖縄島北部の国有林は、沖縄本島の水がめとして重要な役割を果たしています。また、ノグチゲラ(国指定特別天然記念物等)、ヤンバルクイナやヤンバルテナゴガネ(国指定天然記念物等)などの固有種や希少種などの貴重な野生動植物も数多く生息・生育し、国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広がっています。

北部訓練場の一部については、平成28年12月に返還されました。九州森林管理局は、平成29年12月にその一部を含めた3,007haをやんばる森林生態系保護地域として設定しました。また、環境省は、平成30年6月に、やんばる国立公園として編入しました。

凡 例	
	森林生態系保護地域 (保存地区)
	森林生態系保護地域 (保全利用地区)
	米軍北部訓練場
	上記以外の国有林

※数字は林班番号

○数字は勅令貸付地



### 勅令貸付国有林



▲国頭村宜名真県営林49林班  
造林地箇所



▲国頭村辺野喜県営林58い5林小班  
モルッカネム造林地



▲広葉樹搬出状況

## 名護市の国有林

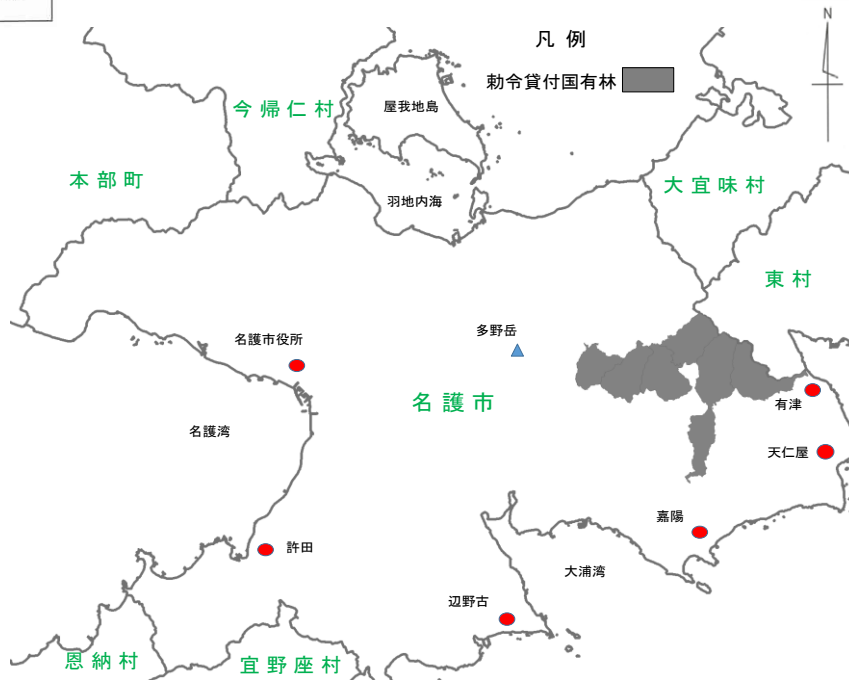
名護市は、昭和45年に名護・屋部・羽地・屋我地・久志の5町村が合併し誕生したやんばる地域の中心地であり、総面積21,090haでその内、山林面積は13,713haあり、全体面積の65%にあたります。

国有林面積1,018haはそのほとんどが「沖縄復帰に伴う農林水産省関係法令適用の特別措置等に関する政令」(昭和47年政令第158号)第64条第1項の規定に基づき、沖縄県に貸付している(通称:勅令貸付国有林)で、沖縄県の県営林経営計画に基づき県営林として管理経営が行われています。



ナゴラン

名護市の国有林



▲名護のひんぷんガジュマル



▲勅令貸付地記念碑

明治42年以来80年間県営林としてきた勅令貸付国有林を引続き60年間無償による契約更改締結記念碑



▲カンヒザクラ



▲羽地ダム (国営)



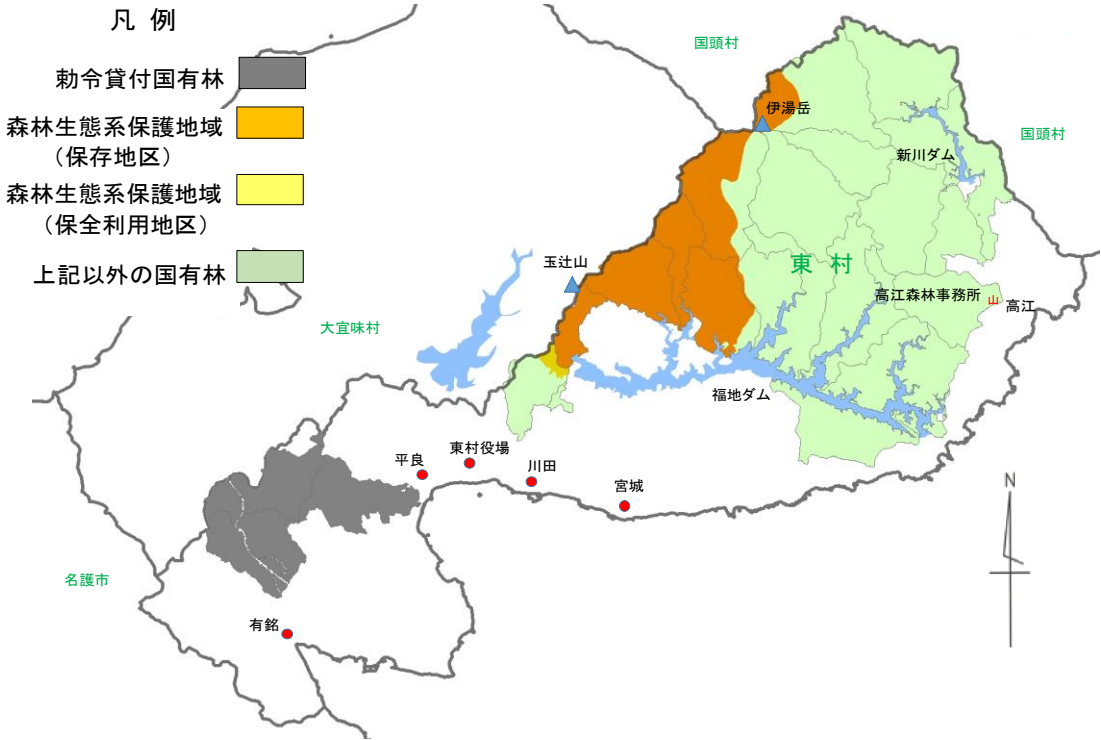
# 東村の国有林



パイナップル（東村の基幹作物）

東村は、沖縄本島の北東部の東海岸にあります。  
 東村の歴史は大正12年(1923年)4月1日に旧久志村からの分村が実現し東村が誕生したと伝えられています。村名については、旧久志村の東方に位置していること、太平洋に面し、東の空から赤々と力強く朝日が昇ることから「日の出るところは東なり」と称され、命名されたと言われています。  
 村の総面積は8,188haで、北東から南西に伸びた縦断延長26kmの細長い村であり、その内6,058haの約74%が山林です。  
 脊梁山地は、北の伊湯岳(446m)、中央の玉辻山(289m)、南西の津波山(236m)からなり、全体的に南東の太平洋側に緩やかな傾斜をなしています。国有林野面積は4,071haでその内、勅令貸付国有林が508haあります。中でも沖縄県最大の水がめ福地ダム上流については、水源かん養機能の発揮が期待されることから「水源かん養タイプ」に区分して管理経営を行うこととしています。これ以外の森林は米合衆国の沖縄北部訓練場として沖縄防衛局に使用承認しています。

## 東村の国有林



▲東村エコパークツツジ園



▲慶佐次湾のヒルギ林



▲国有林PR看板  
宮城国有林17林班国道沿いに設置



▲米軍北部訓練場ゲート



▲首里城古事の森（東村）  
（平良国有林1イ林小班）

協定締結による国民参加の森づくりの一環として「木の文化を支える森」として、H24.10.17に首里城古事の森育成協議会と協定締結



▲サキシマスオウノキ  
東村川田に自生



福地ダムまつり  
（夏休み自然体験会）

森と湖に親しむ旬間期間に広く県民に森林やダム・河川に親しんでもらうために福地ダム湖畔にてダムまつりが開催される。





## 国頭村の国有林



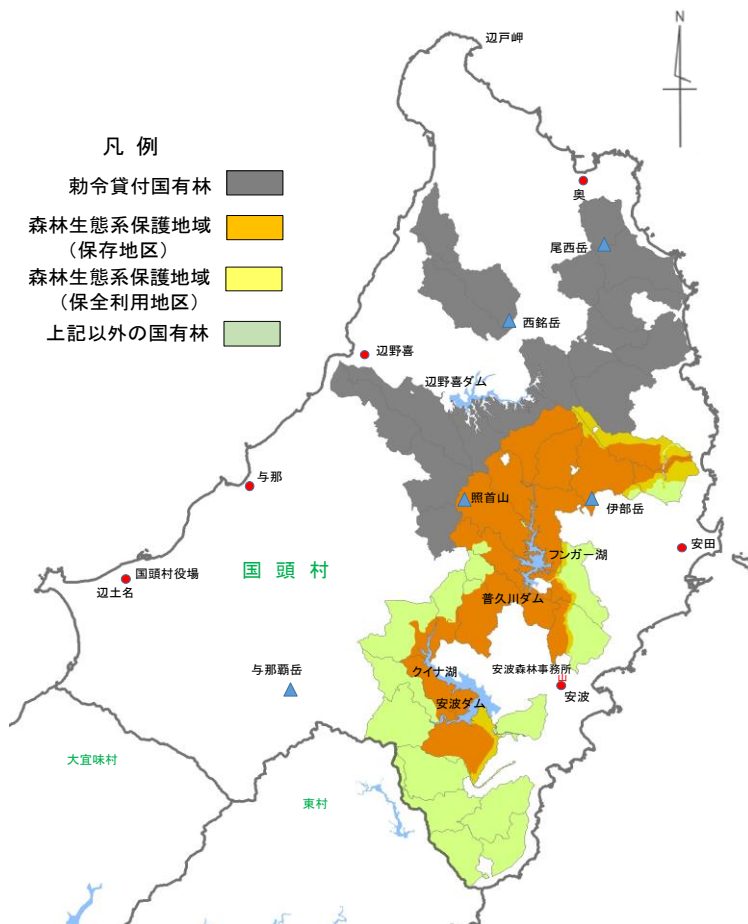
イジユの花

国頭村は、沖縄本島の最北端にあります。

国頭村の歴史は大正3年(1908年)4月1日に島嶼町村制により国頭間切りが国頭村になり、昭和20年(1945年)には国頭村、大宜味村、東村の3村合併で辺土名市となるものの、昭和21年(1946年)には辺土名市を廃止し現在の自治体制に戻ったとされています。

村の総面積は19,480haで、その内、山林面積は16,471haあり、全体面積の85%にあたります。東は太平洋から西は東シナ海に面した沖縄県では5番目に広い面積を有しています。脊梁山地には、沖縄本島最高峰の与那覇岳(503m)、照首山(395m)、西銘岳(420m)の山岳が連なっており、安波ダム、普久川ダム、辺野喜ダム、宜名真ダムの4つのダムを有し、県民の水がめとしての役割を担っています。また、山林には国内希少野生動植物種の「ノグチゲラ」「ヤンバルクイナ」「ヤンバルテナゴカガネ」等の貴重な野生動植物が生息・生育しており、伊部岳周辺は鳥獣保護区特別保護地区に指定されているなど、自然環境の保全を図ることが期待されています。村全体の国有林野面積は6,866haでその内、勅令貸付国有林が2,869haです。

### 国頭村の国有林



#### ▲マングース捕獲わな

沖縄本島北部地域でのマングース防除



#### ▲首里城古事の森 (安波国有林35に外林小班)

協定締結による国民参加の森づくりの一環として「木の文化を支える森」として、H20.11.20に首里城古事の森育成協議会と協定締結



#### ▲ヤンバルクイナ生態展示学習施設



#### ▲リュウキュウヤマガメ 国の天然記念物





▲26林班からフェンチジ山方面を望む



▲国頭村内の国有林林相



▲オキナワウラジロガシ



▲首里城古事の森植樹の様様



安波ダム・クイナまつり

森と湖に親しむ旬間期間に  
広く国民に森林やダム・河川  
に親しんでもらうために安波  
ダム湖畔の国頭村が設置した  
学びの森にてダムまつりが  
開催される。





# 沖縄「ヤンバル」の希少野生動物



## ヤンバルクイナ

沖縄本島北部のみに分布する固有種である。全長約30cmで黒い顔に、目の後方からのびる白帯斑が目立つ。クチバシは太く、鮮やかな赤い色をしていて先端は白っぽい。脚も太めで赤い色をしている。頭部から背上面は暗オリーブ色の褐色で胸から腹にかけて黒と白の細い横縞がある。雌雄ともに同色であり、「絶滅危惧種」の国指定天然記念物、国内希少動植物種(1982年)、国内希少野生動植物種(1983年)に指定。



## ヤンバルテナゴガネ

沖縄島の固有種で、沖縄島北部の原生的自然林が残る極限られた地域にのみ生息する。オスは体長51~65mm、メスは48~60mm。頭胸部は暗青銅緑色、上翅は緑ないし青銅色光沢のある黒色で不規則な黄褐色小紋を散在するが、個体による変化が著しい。脚と覆面は黒色。体下面の側縁部は淡黄色の長毛で密に覆われている。雄の前脚脛節は20~30mmと長く強く湾曲し、端刺と亜端刺を内側にそなえる。端刺は長く内側に伸び大型の個体では先端が多少鈎となる。雌の前脚脛節は普通。「絶滅危惧種」の国指定天然記念物、国内希少動植物種(1995年)に指定。



## オキナワトゲネズミ

沖縄本島北部のみに生息する固有種である。全長は頭から尾っぽまで約215~307mmで胴体に対する尾の占有率は73%になる。普通の体毛の他に約2cmの幅広く先の尖ったトゲ状の毛(針状毛)をもつ特徴がある。農耕地やリュウキュウマツ林ではほとんど見られない。最近、国頭村の山林で生息が確認された。絶滅危惧1A類、国指定天然記念物(1972年)



## ノグチゲラ

地球上で沖縄島北部山林の特定地域に分布する極めて貴重な固有種で、一属一種の原始的キツツキである。全長約31cmである。体はほぼ暗褐色、尾羽は黒色、翼は暗褐色で初列風切に三条の小白斑がある。頭上は雄は赤色、雌が黒褐色である。嘴は青灰色である。

「絶滅危惧種」の国指定天然記念物、国内希少動植物種(1982年)、国内希少野生動植物種(1983年)に指定。

## ケナガネズミ

沖縄本島北部のみに生息する琉球列島の固有種である。全長は頭胴長220~330mm、尾長240~330mmで普通の体毛の他に背中には長さ50~60mmの剛毛と長さ約25mmのトゲ(針状毛)がある。尾は黒褐色であるが、沖縄産は先端から約1/2は白色である。シイ林に生息し、シイなどの実や昆虫類を採食する。林縁部や農耕地を利用することもあり、サツマイモなどの採餌が報告されている。生息環境は主に樹上を利用する。最近国頭村の山林で生息確認がされた。絶滅危惧1A類、国指定天然記念物(1972年)

# 沖縄北部流域の国有林のデータ



シャリンバイ

## 1. 市町村別・機能類型別・林地面積

(単位：ha)

区分	山地災害防止タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用		快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ	合計	
	うち土砂流出・崩壊防備エリア	うち気象害防備エリア	うち保護林	うちレクリエーションの森						
合計	69	38	32	3,007	3,007	—	—	—	5,411	8,487

区分	人工林	天然林	その他	合計
面積	389	6,996	4,601	11,986

森林事務所	関係市町村	要存置林野		不要存置林野面積
		面積	関係林班	
安波	国頭村	6865.83	22～63	—
	伊江村	24.44	74	23.84
	伊平屋村	6.71	75	1.52
高江	名護市	1,017.79	67～73	—
	東村	4,071.22	1～21、64～66	5.63
計		11,985.99		30.99



## 2. 保安林・自然公園等の面積

	細 分	面積(ha)
保 安 林	水源かん養保安林	174.69
計		174.69

注) 保安林の計は種類ごとの重複関係を除く面積。

種 類	細 分	面積(ha)
国立公園	特別保護地区	2,430.96
	第一種特別地域	284.19
	第二種特別地域	214.49
	第三種特別地域	269.15
	普通地域	24.88
鳥獣保護区	特別保護地区	219.64
	普通地区	—
史跡名勝天然記念物		—



普久川ダム (国営)



伊部岳

## 3. 保護林の一覧

種 類	名 称	面 積(ha)	所 在 地	選 定 理 由・特 徴 等
自然維持タイプ	やんばる森林生態系保護地域	3,007	沖縄県国頭郡東村平良国有林1い3林小班外	貴重な自然環境を有する天然林等が多数存在し、生物多様性の保全を図るうえで重要な役割を果たすことから、保護林として設定し適切に保護・保全を図っていく。

## 4. レクリエーションの森

種 類	名 称	面 積(ha)	所 在 地	選 定 理 由・特 徴 等
該当なし				

## 5. その他(フィールドの提供)

設定の目的	名 称	面 積(ha)	所 在 地	概 要
木の文化を支える森	首里城古事の森	2.49	国頭村安波国有林35に外林小班	琉球の木の文化を代表し、世界文化遺産でもある首里城の復元・修復に使用されているイヌマキの植栽を中心とする、国民参加による木の文化の継承に貢献できる森づくり活動を推進する場所の提供を目的としています。
	首里城古事の森(東村)	0.68	東村平良国有林1い林小班	



首里城古事の森 (国頭村)



首里城古事の森 (東村)



福地ダム



沖縄森林管理署は、  
H26年6月に移転しまし  
た。  
移転先はこちらです。



局・署・森林事務所の所在地等

名称	所在地	電話番号等
九州森林管理局	〒860-0081 熊本市西区京町本丁2-7	電話 050-3160-6600 FAX 096-355-3891
	沖縄森林管理署	電話 050-3160-6260 FAX 098-918-0211
安波森林事務所	〒905-1504 国頭郡国頭村字安波209	電話 0980-41-7328 FAX 同上
高江森林事務所	〒905-1201 国頭郡東村字高江466-1	電話 0980-43-2123 FAX 同上
租納森林事務所	〒907-1542 八重山郡竹富町字西表689	電話 0980-85-6201 FAX 同上
大原森林事務所	〒907-1434 八重山郡竹富町字南風見201	電話 0980-85-5308 FAX 同上

九州森林管理局ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/>

(森林管理署等のホームページは、九州森林管理局のホームページからご覧いただけます。)